

2期目の挑戦! 若さと行動力で即実行!!

- イオン周辺の道路や公園の維持修繕
- 石川町駅南口(元町・中華街口)のバリアフリー工事
- 本牧市民公園スケートボードパーク開設
- 横浜コミュニティサイクル【baybike】の本牧方面運用
- 地域コミュニティカフェ、マーケットテラスカフェ石川町とHONMOKU BASEの開設
- 地域コミュニティFM【横浜マリンFM】開局

いなみ俊之助の直近の活動です。
地域の皆様と共に汗かき、より良い街づくりを!

SDGs(エス・ディー・ジーズ)って知っていますか?

持続可能な開発目標、
SDGs(Sustainable Development Goals)をご存知でしょうか。
国連が2015年に定めた、
2030年までの国際社会共通の目標です。
17のゴール・169のターゲットで構成され、
地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。
横浜市は、「SDGs 未来都市」として
国に選定された、SDGsの先進都市です。
こうした横浜の取組を、議会からさらに加速できないか。
2019年よこはま自民党は
SDGs国連の持続可能な開発目標とともに
進めてまいります。



市民の健康寿命延伸

健診受診の受診を呼びかけ、がん検診の受診率50%を達成し、ICTを活用した生体データの確認等によって市民一人ひとりの健康チェックをすすめ、市民の健康寿命を延ばします。



プログラミング教育の拡充

学校のプログラミング教育を充実し
子どもたちのICT活用力を高めます。



女性が働きやすい都市ヨコハマ

シングルマザーを含め女性が働きやすい
環境を整え、日本で一番
女性が働きやすい都市ヨコハマを目指します。



コミュニティバスの拡充

地域の声を踏まえた「コミュニティバス」の
拡充を進め、市内の交通不便地域を減らします。



市会のオープン化・見える化

議会審議のICT化を進め、「わかりやすい議会、
開かれた議会、見える議会」への改革を進めます。



いなみ俊之助が掲げる 誇れる街って?



動ける横浜 ~横浜を住んで働ける街に~

片道1時間の通勤時間が30分、15分になれば、暮らしが大きく変わってきます。
企業の横浜誘致や商店街活性化など「働く場」の充実に全力で取り組みます。
モノやサービスを地域内で循環させる仕組みづくりも一層強めます。
もちろん「住みやすさ」「暮らしやすさ」の充実も大事です。
交流拠点は身近な文化交流による「絆」の象徴であり
充実を進めてまいります。地元愛溢れる誇れる街、中区が目標です。



強い横浜 ~災害に強い街に~



横浜市民意識調査の第1位は「災害対策」。
各地で発生する災害は人ごとではありません。
災害時の避難支援などの防災体制を強化します。
地域の防災活動と連携した「図上訓練(DIG)」、
「中区総合防災訓練」をはじめとして「防災・減災
まちづくり」を推進。横浜の「もしも」に備えます。



優しい横浜 ~子育てに優しい街に~

2児の父という現役子育て世代の一人として、
待機児童などの問題に取り組みます。働きたい女性をはじめ、
子供を預ける施設を探している人は少なくありません。
まずは保育所、幼稚園の一層の充実に取り組みます。
市の家庭応援事業もより拡大が必要です。街全体で子育てを温かく
見守り、応援するシステム「地域の絆」を再構築します。



頼れる横浜 ~高齢者が安心して暮らせる街に~

介護も伴う三世代同居から、「すべての根幹として、
福祉の視点が最も大切である」との思いを持つに至りました。
高齢者が安心して暮らせることは、最も大事なこと一つです。
医療と介護が連携した「地域包括ケアシステム」をつくり、
買い物支援や障害者の方への
「見守りネットワーク」の充実を進めます。



世界の横浜 ~世界中から人が集まる街に~

江戸末期より世界への窓口となってきたのは横浜です。その中心は中区です。
2020年オリンピック・パラリンピック東京大会も視野に
横浜を世界に再発信していきます。
観光・経済資源としての価値を再確認し、
様々な国の方が訪れ「再訪したい」と思って頂ける。
そんなヨコハマを目指します。



このページを印刷しての頒布及び電子メール等を使って頒布することはできません。
公職選挙法第142条、第243条に抵触することがありますのでご注意ください。